鈴鹿工業高等専門学校	開講年度	令和03年度 (2021年度)	授業科目	歴史Ⅰ

科目基礎情報

科目番号	0011	科目区分	一般 / 必修
授業形態	授業	単位の種別と単位数	履修単位: 2
開設学科	生物応用化学科	対象学年	1
開設期	通年	週時間数	2
教科書/教材	『新編世界の歴史』北村正義（学術図書出版）・『最新世界史図説タペストリー』帝国書院編集部（帝国書院）・プリント		
担当教員	藤野 月子		

到達目標

1．ヨーロッパ中世から絶対主義及び日本における封建時代の歴史的な発展が理解・説明出来る.
2．ヨーロッパ・日本における市民革命及び産業革命の歴史的な意義と相違点が理解・説明出来る.
3．列強の植民地進出及び対立が理解・説明出来る.
4．現代に繋がる歴史的過程が理解・説明出来る.

ルーブリック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安
評価項目1	ヨーロッパ中世から絶対主義及び日本における封建時代の歴史的な発展が深く理解・説明出来る.	ヨーロッパ中世から絶対主義及び日本における封建時代の歴史的な発展が理解・説明出来る.	ヨーロッパ中世から絶対主義及び日本における封建時代の歴史的な発展が理解・説明出来ない.
評価項目2	ヨーロッパ・日本における市民革命及び産業革命の歴史的な意義と相違点が深く理解・説明出来る.	ヨーロッパ・日本における市民革命及び産業革命の歴史的な意義と相違点が理解・説明出来る.	ヨーロッパ・日本における市民革命及び産業革命の歴史的な意義と相違点が理解・説明出来ない.
評価項目3	列強の植民地進出及び対立が深く理解・説明出来る.	列強の植民地進出及び対立が理解・説明出来る.	列強の植民地進出及び対立が理解・説明出来ない.
評価項目4	現代に繋がる歴史的過程が深く理解・説明出来る.	現代に繋がる歴史的過程が理解・説明出来る.	現代に繋がる歴史的過程が理解・説明出来ない.

学科の到達目標項目との関係

教育方法等

概要	人類の歴史を学ぶことを通じ，世界を舞台に活躍する国際人として必要な知識を身に付けることを目指す．社会の発展過程を論理的に追究する能力を養うことを目指す.
授業の進め方・方法	・すべての内容は学習・教育到達目標に対応する. ・授業は講義形式で行う．講義を聞き，黒板や教科書・図説を見つつ，配布したプリントの空欄を埋める．通常授業中には，グループによる自己学習の時間も設ける. ・「授業計画」における各週の「到達目標」はこの授業で習得する「知識・能力」に相当するものとする.
注意点	<到達目標の評価方法と基準>下記授業計画の「到達目標」を網羅した問題を，中間・期末・学年末の試験で出題し，目標の達成度を評価する．重みは概ね均等とする．満点である１００%の得点により，目標の達成を確認出来るレベルの試験を課す. <学業成績の評価方法及び評価基準>前期中間・前期末・後期中間・学年末の試験の平均点で評価する．ただし，前期中間・前期末・後期中間・学年末の試験について６０点に達していない者には再試験をする．再試験の結果が６０点を上回った場合には，その成績を６０点として置き換える．授業中に世界遺産に関するレポートを４回ほど課し，プリントの提出も行い，それらも評価に加味する. <単位修得要件>学業成績で６０点以上を取得すること. <あらかじめ要求される基礎知識の範囲>今日の世界で起こっている歴史的な出来事に普段から関心を寄せておくこと．新聞やテレビのニュースなども教材として随時利用する. <備考>『最新世界史図説タペストリー』は授業に必ず携帯すること．本教科は後に学習する「歴史Ⅱ」の基礎となる教科である.

授業の属性・履修上の区分

☑ アクティブラーニング	☑ ICT 利用	☑ 遠隔授業対応	□ 実務経験のある教員による授業

授業計画

		週	授業内容	週ごとの到達目標
前期	1stQ	1週	オリエンテーション　歴史を学ぶとは？	１．歴史を学ぶ意義が理解出来る.
		2週	ヨーロッパ世界１　中世ヨーロッパの成立とシステム	２．中世における封建制度の仕組みが理解出来る.
		3週	ヨーロッパ世界２　十字軍と中世都市	３．十字軍が後世に及ぼした影響が理解出来る.
		4週	ヨーロッパ世界３　中央集権国家の出現	４．身分制議会の仕組みが理解出来る.
		5週	ヨーロッパ世界の展開１　大航海時代	５．大航海時代が後世に及ぼした影響が理解出来る.
		6週	ヨーロッパ世界の展開２　ルネサンス	６．ルネサンスの展開が理解出来る.
		7週	ヨーロッパ世界の展開３　宗教改革	７．宗教改革の内容が理解出来る.
		8週	中間試験	上記２～７の内容が理解出来る.
	2ndQ	9週	絶対主義１　絶対主義とは？イギリスの場合	８．絶対主義の仕組みとイギリスにおける絶対主義の内容が理解出来る.
		10週	絶対主義２　ヨーロッパ各国の場合	９．ヨーロッパ各国における絶対主義の内容が理解出来る.
		11週	幕藩体制の成立	１０．日本における封建制度の仕組みが理解出来る.
		12週	市民革命１　市民革命とは？イギリスの場合	１１．市民革命の仕組みとイギリスにおける市民革命の内容が理解出来る.
		13週	市民革命２　アメリカの場合	１２．アメリカにおける市民革命の内容が理解出来る.
		14週	市民革命３　フランスの場合	１３．フランスにおける市民革命の内容が理解出来る.
		15週	明治維新と富国強兵	１４．日本における明治維新の内容が理解出来る.
		16週		

後期	3rdQ	1週	産業革命１　産業革命とは？イギリスの場合	１５．産業革命の仕組みとイギリスにおける産業革命の内容が理解出来る.
		2週	産業革命２　ベルギーとフランスの場合	１６．ベルギー・フランスにおける産業革命の内容が理解出来る.
		3週	産業革命３　ドイツとアメリカの場合	１７．ドイツ・アメリカにおける産業革命の内容が理解出来る.
		4週	産業革命４　ロシアと日本の場合	１８．ロシア・日本における産業革命の内容が理解出来る.
		5週	ヨーロッパ列強による植民地化１　オスマン帝国	１９．植民地の仕組みとオスマン帝国の植民地化が理解出来る.
		6週	ヨーロッパ列強による植民地化２　インド	２０．インドの植民地化が理解出来る.
		7週	ヨーロッパ列強による植民地化３　東南アジア	２１．東南アジアの植民地化が理解出来る.
		8週	中間試験	上記１５～２１の内容が理解出来る.
	4thQ	9週	ヨーロッパ列強による植民地化４　中国１	２２．中国の植民地化が理解出来る.
		10週	ヨーロッパ列強による植民地化５　中国２	上記２２に同じ.
		11週	帝国主義１　帝国主義とは？イギリスの場合	２３．帝国主義の仕組みとイギリスにおける帝国主義の内容が理解出来る.
		12週	帝国主義２　フランスとドイツの場合	２４．フランス・ドイツにおける帝国主義の内容が理解出来る.
		13週	帝国主義３　ロシア・オーストリア・イタリアの場合	２５．ロシア・オーストリア・イタリアにおける帝国主義の内容が理解出来る.
		14週	帝国主義４　アメリカの場合	２６．アメリカにおける帝国主義の内容が理解出来る.
		15週	帝国主義５　日本の場合	２７．日本における帝国主義の内容が理解出来る.
		16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	社会	地理歴史的分野	民族、宗教、生活文化の多様性を理解し、異なる文化・社会が共存することの重要性について考察できる。	3	
				近代化を遂げた欧米諸国が、19世紀に至るまでに、日本を含む世界を一体化していく過程について、その概要を説明できる。	3	前1
				帝国主義諸国の抗争を経て二つの世界大戦に至る日本を含む世界の動向の概要を説明し、平和の意義について考察できる。	3	
				第二次世界大戦後の冷戦の展開からその終結に至る日本を含む世界の動向の概要を説明し、そこで生じた諸問題を歴史的に考察できる。	3	
				19世紀後期以降の日本とアジア近隣諸国との関係について、その概要を説明できる。	3	

評価割合

	試験	課題（レポート・プリント・その他）	合計
総合評価割合	80	20	100
配点	80	20	100